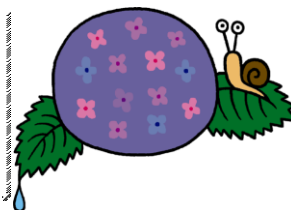


道徳通信

川北町立川北中学校 平成28年 6月6日(月) NO. 4



◆◇5月の道徳の授業(心のテーマは自主自立)◇◆

～1年生～ 「102kmの青春」

甲府一高の強行遠足。102kmの道のりを走り抜く遠足に挑む高校生。その姿をおさめたVTRを見られました。今でも続く、この遠足。「強い意志」がないとなかなかできるものではありません。授業では「強い意志」について考えてもらいました。

授業を終えての感想

- ・私が思う強い意志は自分の思う意志をつらぬき通し、一生懸命頑張ることだと思う。VTRを見て、自分が「これはやりたい」という思いを一生懸命やっているのを見てこれが強い意志を持っているということなんだと思いました。自分がどんなにつらくても自分の意志を曲げないことが強い意志ということが分かりました。
- ・僕は自分の目標、自分の弱い気持ち、自分の壁に打ち勝つことに向けて頑張ることが「強い意志」だと思った。そのために、友情やいろんな人からの応援そして、自分の弱い気持ちに勝つ強い気持ちが必要にではないかと感じました。また、それぞれが必死になることが大切だと思った。
- ・私はこのVTRを見て、102kmというとても過酷な道のりを必ず走りきれるという保証はなかったり、末木さんみたいに何かしらの怪我などを負っていたりしても目標や強い意志を持ち、挑むという心がすごいと思いました。また、ゴールできなかった人も全員が強い意志で挑戦していて、自分もこの決して見返りを求めず、強い意志を持って何事にも挑んでいきます。

～2年生～ 「裏庭での出来事」

ガラスを割ってしまった三人(健二・雄一・大輔)が三者三様の対応をする。すぐに謝りに行った雄一、雄一が謝りに行っている間に新たにガラスを割ってしまった健二、先生が来た時とっさに言い訳をした大輔。この三人の立場を考えながら、自律のあり方やそれに伴う責任の取り方について考えました。

Q. 三人はどうすれば良かったのでしょうか？

- ・雄一はとてもいい行動をとったと思う。健二や大輔は雄一が行った後にサッカーをしなければよかったと思う。そもそも3人で裏庭で遊んだことがだめだと思う。
- ・遊んでいてガラス割るのを隠すのはダメだから先生にすぐ言って反省しないといけない。謝ろうとしているのに自分の事しか考えていないのはおかしいから「オレも一緒に行くよ」といってあげたらよかったと思う。
- ・一番いいのは裏庭に行かない事だけど、行ってしまったとしても他の方法で猫を追い払うこともできたと思うし、もし助けた事で割ってしまったら、三人で謝りに行くべきだったと思った。
- ・雄一は正しい行動をとれる人だから、他の2人に裏にはに行かせないように言えば良かった。健二は裏庭に行くことを断れたらよかった。大輔と雄一にも「裏庭に行くな」と言ってあげたらよかった。
- ・雄一がガラスを割ってしまった時に、3人で謝りにいけばよかった。



～3年生～ 「魂を込めて」

ある加賀友禅の工房で康介という青年が美しい着物を作ることを夢見て修行していた。しかし後から入った拓也の方がどんどん認められていった。あるとき開いたままになっていた拓也のノートからデザインを盗みデッサンをし師匠に見せた。そのデッサンをじっと見つめる師匠、驚いてみる拓也…。しかし二人は何も言わなかった。その後師匠が康介に声をかけた。「この道を究めていくことは決してたやすいことではない。誰だってうまくいかないときもある」と。康介の頬を涙がつつた。

Q. 涙を流した康介に声をかけるとしたらあなたはなんと言いますか。

- ・ 過ちを過ちのまま終わらせることが過ちなんだよ。過ちを犯してしまった次が大切なんだよ。拓也に勝ちたいのはわかるけど、まず自分に勝ってから戦いというものは始まるんだよ。
- ・ 誰だって壁に当たって悩みを抱えることはある。完璧な人間なんているわけがない。
- ・ 拓也と並びたいなら努力するんだ！
- ・ 時間はかかるかもしれないけどいつかいい作品ができるから、それを信じて頑張る。
- ・ 今度は自分のデザインを考えよう。失敗するのは当たり前だ。自分のデザインには拓也にないものがきっとある。
- ・ 人は悪いこともして成長するんだよ。
- ・ 拓也は拓也、康介には康介のいいところがある。
- ・ 誰にだって悪い気持ちはあるから、次はそれに勝てるように頑張れ。

挨拶運動がありました

5月は、生徒総会で決まった挨拶運動がありました。各クラスが校門や玄関前に立ち、自ら進んで挨拶をしていました。川北中学校を良くしたいという生徒の熱意が、これからの川北中学校をさらに盛り上げてくれると期待しています。

◇一流選手ほどやっている心の準備！

それは、**あいさつ＝やる気・集中力を高める・気持ちの切り替え**

- 1＝大きな声でしっかりあいさつできる人は、心の準備のできた人
- 2＝練習前の元気あるあいさつは、「よし、やるぞ！」という気持ちをつくる
- 3＝試合前の元気あるあいさつは、「勝つための心の準備」
- 4＝監督・コーチへのあいさつは、「お願いします」という心の準備
- 5＝チームメイトへのあいさつは、「今日も頑張ろう」という元気づけ
- 6＝元気のいいあいさつは、サイキングアップの「呼吸法」と「集中力」

※サイキングアップ：練習へのやる気を高め、気持ちのノリを意図してつくる心理的準備

